

# 都心の子どもと郊外の子ども

白梅学園 清修中学校

英語科教諭

村田 涼

ご存じの通り、白梅学園は小平市に位置している。小平市は、いわゆる東京郊外の街である。郊外とは、国語辞典によると、都会に隣接した田園地帯のことだ。それに対して都心とは、東京都の中心地帯のことだ。同じ東京でも、区部と市部では全く様相が異なる。都心にはオフィスビルや商業施設が林立し、昼間の人口密度が非常に高い。郊外の街にはまだまだ緑が多く、のどかな風景が広がっている。このように都心と郊外は対照的な環境と言えるが、都心の学校に通う子どもと、郊外の学校に通う子どもには、どのような育ちの違いが出るのかを考察してみたい。通学を含めれば一

日の半分の時間を過ごす学校とその周辺環境は、子どもの成育や人格形成に大きな影響を及ぼすと思うのだ。私は中学・高校時代、横浜市にある自宅から世田谷区の学校に通っていた。東急東横線で渋谷駅まで行き、地下鉄に乗り換えて一駅のところの学校があった。片道一時間かかり、7時半に家を出て6時半頃に帰宅する生活だったと記憶している。いわゆる都心の学校に通う子どもであった。毎日満員電車で揺られ、渋谷の雑踏に紛れ、次第に人混みに対してストレスを感じるようになっていった。当時はパーソナル・スペース（心地よい対人距離）という言葉を知らなかったが、通

学中は常にパーソナル・スペースを侵されている状態だったのだ。学校の周辺も緑が少なく、アスファルトとコンクリートに覆われた無機質な街という印象であった。本能的に自然が好きなの自分の性には合わなかった。

自分の中学・高校時代を振り返ると、のびのび育った感じではなく、都心という環境の抑圧を受けて育った感がある。実際、学校周辺の環境はあまり良くななく、夏には光化学スモッグが発生することがあった。夏休みにサッカー部の練習に学校に行ったら、光化学スモッグが発生して練習が中止になることも何度があった。そんな時は子ども心に、なぜわざわざサッカーをしに渋谷まで来なければならぬのか、そもそも学校は都心にあるべきなのか、と疑問に思ったものだ。自分は無駄なストレスにさらされているのではないかと。

これに対して、現在勤務している白梅学園は恵まれた環境にあると思う。子育てにも最高である。学校の近所に住み自転車通勤する生徒は、人混みのストレスとは無縁に平坦な道を気持ち良く走って学校にやってくる。電車で通う生徒も、鷹の台駅から緑の豊かな上水緑道を歩いてやってくる。毎日片道15分間を森林浴しているようなものだ。また、往復30分間のウォーキングは6年間続ければ相当の運動にもなる。小平市のような自然が豊かな郊外の学校に通った方が、子ど

ものはのびのびと健やかに育つのではないだろうか。小平は農業が盛んで、街の至る所に畑と農産物直売所がある。林も保存樹林として保護し、過度の宅地化を防いでいる。あまり高い建物は無く、街の景観を守ろうとしている。その美しい街を囲うように、合計21kmの小平グリーンロードが整備されている。街全体が自然志向・健康志向である。この小平市にあるという立地が、白梅学園の魅力の一つになっていると考えている。

私立の中学・高校を選ぶ際に、進学実績や教育内容ばかりに目が行きがちだが、学校がある街にもっと目を向けるべきではないだろうか。単純に進学校だからという理由で、子どもを6年間満員電車で都心に通わせるのは、かわいそうである。子どもの人格・価値観の形成にも目を向けて、望ましい学校環境を選ぶべきだと思う。毎日排気ガスを吸って人混みの中を通勤するよりも、小鳥のさえずりを聞き四季の移り変わりを感じながら学校に行く方が、人として正しい育ちをすると思うのだ。

やはり、学校は郊外にある方が好ましいように思う。各地区になくってはならない公立学校は別として、立地を選べる私立学校は、自然が豊かで広々とした環境にある方がよい。郊外のベッドタウンに住み、都心のオフィスまで働きに行くという勤め人のレールに子どもを乗せるのはいかがなものか。郊外に住んでいるなら、

子どもはそのまま郊外の学校に通った方がストレスが  
少ないし、地元友達もできやすいだろう。都心にし  
か有名進学校がないために、やむを得ず子どもを都心  
に通わせている親御さんもいるであろう。清修中高一  
貫部は、そのような親御さんの期待に応えられるよう  
になりたい。今までは、たまたま都心の学校の進学実  
績に生徒が集まっていただけだと思う。良い環境の中  
で進学実績も両立できれば、親子にとって良いことず  
くめではないだろうか。

清修中高一貫部の中学2年生が夏に行く英国研修で  
は、生徒は寄宿制学校の寮に3週間滞在する。3つの  
学校に分宿するのだが、それらの学校は全てロンドン  
「郊外」にあり、芝生に覆われた広大な敷地を有してい  
る。欧米では、私立の中等教育機関は郊外に作られる  
ことが多いようだ。

日本でも近い将来それが常識となり、都心から郊外  
に通学する子どもが増えるかもしれない。高校生まで  
は広々とした環境でのびのびと育ち、大人になってか  
ら都会に住むか田舎に住むかを決めれば良いと思う。  
都会の刺激が好きな人もいれば田舎のゆったりしたと  
ころが好きな人もいて、大人になってからは好みの問  
題だからだ。私がかつて都心のオフィスに通う会社員  
だったが、今は小平に住み小平で働いている。いわゆ  
る住職近接を満喫させてもらっている。私にとっては

今の生活の方が性が性に合っているようだ。朝、玉川上水  
沿いを自転車で学校まで走っていると、理屈抜きに気  
持ちが良いのだ。